

平成24年度特定非営利活動法人

# 霞ヶ浦アカデミー総会議案書

日時：平成24年5月15日（日）15：30開会

会場：茨城県霞ヶ浦環境科学センター

開 会

理事長挨拶

定数確認

議長選任

議事録署名人選任

議 事

報告第1号 平成23年度事業報告

報告第2号 平成23年度会計報告

報告第3号 平成23年度監査報告

質疑および承認

議案第1号 平成24年度事業計画（案）

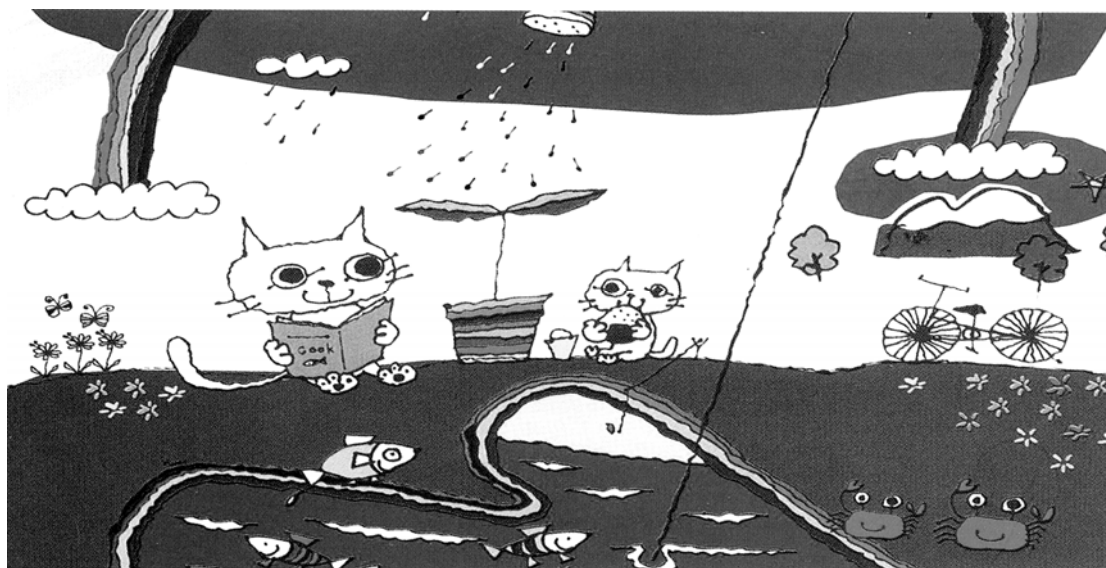
議案第2号 平成24年度収支予算（案）

質疑および承認

議案第3号 役員改選（案）

議長解任

閉 会



## 活動の概況

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、私たちの暮らしや地域の運営に影響を与えています。地震による地盤沈下や液状化は、霞ヶ浦沿岸の治水や利水に、福島第一原子力発電所による放射能汚染の問題は生産者・消費者に、深刻な問題を及ぼし続けています。こうした状況の中で平成23年度の活動を行うことになりました。

定期連続講座では被災の現状、放射能汚染問題や治水についても新しい考え方を取り上げました。特に放射能汚染問題については、長期間にわたって係わることになる深刻な問題と受け止め情報の整理を行い今後の対応を検討してきました。

「生き物アカデミー」の活動では、毎月の定置網の魚類調査を継続し、霞ヶ浦の魚たちの動きを追跡してきました。春季から夏季の期間には、霞ヶ浦湖岸での魚とりが中心でしたが、9月以降は沿岸・沖合いの水質観測を行い、それらの成果を話し合いながら現在の霞ヶ浦の状態を判断し会報で広報しました。

以上が活動の概況ですが、平成24年は放射能問題や水質問題が、より重要な局面を迎えることとなりますから、そうした問題の解決をめざす活動に力をいれていきたいと考えております。

### 1 生き物アカデミー

毎月一回、小学生を対象に霞ヶ浦湖岸で観察会等を行いました。各回の内容は以下のとおりです。また、開催時には毎回、霞ヶ浦湖岸に設置した定置網で魚類種組成の調査を行いました。

4月	17日	増えた魚・減った魚
5月	15日	水に浸かって魚をとる 生き物アカデミー公開発表会
6月	19日	里山の虫の世界を探検する
7月	16日	「大洗海の大学」での地域再生討論会に参加、霞ヶ浦の魚類調査の結果を発表
7月	17日	好きな方法で魚とりをする
8月	21日	湖岸の水質を調べる
8月	31日	那珂川中流の魚類調査
9月	18日	湖岸の水質を調べる2
10月	16日	霞ヶ浦の沖合いの水質を調べる . 玉造ロータリーとの交流会
11月	20日	外来魚の食性を調べる
12月	18日	霞ヶ浦でワカサギが増えた原因を調べる
1月	16日	湖岸の野鳥の分布を調べる
2月	19日	一年間の調査結果をまとめる
3月	20日	増えた魚、減った魚の原因を考える

## 2 霞ヶ浦定期連続増座

毎月1回霞ヶ浦や環境問題に関する講座を開催した。

第29回	4月17日	魚から霞ヶ浦問題に迫る	浜田篤信
第30回	5月15日	放射能汚染社会に生きる	原田 泰
第31回	6月19日	里山の虫の世界を探検する	廣瀬 誠
第32回	7月16日	東日本大震災と霞ヶ浦	浜田篤信
第33回	8月21日	東日本大震災と霞ヶ浦Ⅱ	木村陽一
第34回	9月18日	水は市民のもの 水資源開発見直しを求めた科学者	矢野徳也
第35回	10月16日	今夏のアオコ発生を解析する	浜田篤信
第36回	11月20日	自然再生特別講演会 湿地保全とコウノトリ再生 トキとウナギで霞ヶ浦北浦を再生する	佐竹節夫 飯島 博
第37回	12月18日	東日本大震災と霞ヶ浦Ⅲ 被災実態と課題	岩波嶺雄
第38回	1月16日	第6期霞ヶ浦水質保全計画をめぐって	浜田篤信
第39回	2月19日	霞ヶ浦水資源開発史Ⅵ	木村陽一
第40回	3月20日	環境教育講座 問題解決法「基礎と事例研究」 ～放射能汚染を事例に～	原田 泰

## 3 調査研究

### (1) 自然の調査研究

- ① ワカサギ資源の変動機構解明
- ② アオコ復活原因解明
- ③ 霞ヶ浦の魚類群集

霞ヶ浦玉造高須地先で張網の漁獲し、その種組成を12回にわたって調査しました。

### (2) 社会の調査研究

- ① 東日本大震災と霞ヶ浦

東日本大震災の霞ヶ浦流域社会に及ぼす影響や今後の展望等について研究を行い、その成果を講演、会報、研究報告で発表しました。

- ② 霞ヶ浦の放射能汚染の構造解析研究

東日本大震災による福島第一原子力発電所事故の放射能汚染の影響は、霞ヶ浦に深刻な影響を与え続けており、当アカデミーとしても解決に向けて何らかの努力をしなければなりません。とりあえず既往のデータから汚染の実態を解析し、対策と今後の行動計画案を策定しました。

## 4 会報の発行

海夫通信第10～12号を発行しました。

海夫通信 10 2011.5.18 記念講演「放射能汚染社会に生きる」、生き物アカデミー研究発表「魚から霞ヶ浦に迫る(1)」増えた魚、減った魚、ワカサギが増えた原因、平成23年度総会を開催しました。

海夫通信 11. 2011.11.6. 講座32「東日本大震災と霞ヶ浦」、講座34「今夏のアオコ発生を解析する(その1)」。生き物アカデミー前期の活動紹介。廣瀬先生との再開

海夫通信 12. 2012.3.26 講座32「東日本大震災と霞ヶ浦Ⅱ～これからの治水について考えること」、生き物アカデミーの活動(後期)紹介、講座34「今夏のアオコ発生を解析する(その2)」。

## 5 その他

環境保全や地域振興関係のシンポジウム、調査研究、広報等の活動に参加しました。

## 7 理事会・総会

(1) 総会 平成23年5月15日16:00～16:45

開催場所：水の科学館多目的ホール 出席者数10名、表決委任10名 事業報告・会計報告、事業計画および予算について質疑・承認

(2) 理事会および協議会

第1回	4月17日16:00～17:00	事業計画、総会
第2回	5月15日17:30～18:20	前期の事業、他団体との協力、会報
第3回	6月19日16:00～18:00	7月のイベント、東日本大震災、
第4回	7月17日16:00～17:30	東日本大震災、連続講座の進め方
第5回	8月21日16:30～18:00	9～12月の行事の進め方
第6回	9月18日16:00～17:20	大震災に関連した講座、環境教育講座
第7回	10月8日13:00～15:00	特別講演会、次年度の講座計画
第8回	10月16日16:00～17:30	環境教育、講座のテーマ
第9回	12月18日16:00～17:50	霞ヶ浦大学構想、次年度計画
第10回	1月13日16:00～17:00	霞ヶ浦水質問題について
第11回	2月19日16:00～18:00	次期役員、その他
第12回	3月18日16:00～17:45	次年度事業計画、放射能汚染

## 平成23年度決算書

## 特定非営利活動に係る事業

## 収入の部

## 収入の部

費目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)
繰越金	205,487	205,487	0
会費等	150,000	79,000	△ 71,000
事業収入	50,000	0	△ 50,000
寄付金	250,000	240,000	△ 10,000
助成金	500,000	350,000	△ 150,000
その他事業からの収入	50,000	0	△ 50,000
雑収入	1,000	17	△ 983
合計	1,206,487	874,504	△ 331,983

## 支出の部

費目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)
事業費	850,000	394,767	
会議費	50,000	8,880	△ 41,120
報償費	400,000	300,000	△ 100,000
消耗品費	250,000	51,279	△ 198,721
印刷費	150,000	34,608	△ 115,392
管理費	356,487	255,516	
旅費	100,000	111,956	11,956
事務費	100,000	48,400	△ 51,600
通信運搬費	80,000	67,160	△ 12,840
会費等	20,000	28,000	8,000
予備費	56,487		
合計	1,206,487	650,283	△ 556,204

次年度繰越金	163,981
普通預金	218,721
郵便振替	79,080
現金	△ 864
未払金*	132,956

\*未払金：実費弁償

支出内訳	649,523	現金
	760	郵便振替

## その他の事業

### 収入の部

費 目	予算額 (円)	決算額 (円)	増 減
事業費	500,000	0	△ 500,000
合計	500,000	0	△ 500,000

### 支出の部

費 目	予算額 (円)	決算額 (円)	増 減
事務費	400,000	0	△ 400,000
非営利活動繰入	50,000	0	△ 50,000
次年度繰越金	50,000	0	△ 50,000
合計	500,000	0	△ 500,000

以上、報告します。


平成24年5月20日  
非営利活動法人霞ヶ浦アカデミー  
理事長 荒井 一美


報告第3号

## 平成23年度監査報告

平成23度における会計書類、帳簿、証拠書類および現金、預金を監査した結果、適正に処理されていたことを認めます。

平成24年5月20日

宮内 徳 通 

岩波 領 雄 

## 平成 24 年度事業計画 (案)

### 基本方針

2011 年 3 月 11 日の東日本太平洋沖地震は、霞ヶ浦を初めとする県内の水域に様々な影響を与え始めています。特に放射能汚染は、流河川や湖の堆積物中のセシウムの濃度を高め顕在化しつつあります。霞ヶ浦では数種の魚類でセシウム濃度が基準値を上回り深刻な事態に至っています。現在の事態は、霞ヶ浦誕生以来の最大の試練です。なにはさておき、この問題の解決に取り組まなければなりません。第 42 回霞ヶ浦定期連続講座でも話題提供を行い解決について話し合ったところですが、継続して調査を行い、その結果に基づき解決策を提言し実現に向けて活動を行います。

基本的な問題としては、この大きな痛みをともなう貴重な体験をふまえエネルギーや水資源開発問題を見直し持続可能な新しい時代の開発・管理について研究や政策提言を行っていきます。

「生き物アカデミー」活動では、魚の採集調査を継続しますが、魚類と水質の関係を重視し、アオコの分布調査や水質調査等の環境調査にも力を入れて活動します。

「社会の調査研究」では、「海夫たちの霞ヶ浦」の完成をめざして主に江戸時代について調査研究をすすめます。

また、最近大きな動きがみられる霞ヶ浦をめぐる社会情勢についても情報を収集し、上記の調査研究結果と併せて情報を会報やホームページ等で公開します。

環境教育については問題解決型環境教育講座を開催しますが、わかりやすく具体的な内容として生まれ変わった講座を準備します。

### 理事会等の運営

会員、他団体との連携を重視し、開かれた運営をめざします。理事会等の会議は、オープンとし自由参加とします。調査研究等の各プロジェクト活動は自由参加とし公募して行います。

### 特定非営利活動に係る事業

- 1 生き物アカデミー講座開催 年 1 2 回実施  
霞ヶ浦における観察会を中心に観察会、魚類の採集や調査を行うと同時に、大きく変わりつつある霞ヶ浦の生態系に焦点を当てて調査研究を行います。
- 2 環境教育指導者養成講座開催 年 2 回開催  
霞ヶ浦で発生する環境問題の解決に資する参加体験型環境教育講座を開催します。
- 3 霞ヶ浦定期連続講演会 年 1 2 回開催  
過去 42 回にわたって毎月一回開催してきた講座を、霞ヶ浦の環境、生物、歴史、開発等に関係するテーマについて継続実施します。
- 4 Kフェスタ開催

霞ヶ浦に関する講演会、シンポジウム、魚食普及や各種イベントを9月に開催します。

## 6 調査研究事業

### (1) 放射能汚染の解決をめざす研究

霞ヶ浦との共生について、新たな視点から検討し政策提言等を行います。

アオコ分布の新しい傾向について研究を進めます。

### (2) 社会の調査研究

東日本大震災を踏まえた持続可能な地域社会での開発・管理について研究を進めます。

霞ヶ浦における津社会の興亡等を中心に、霞ヶ浦流域社会の成り立ち、構造変化について調査を実施します。

### (3) 自然の調査研究

大きく変わりつつある霞ヶ浦生態系について情報収集を行うと同時に、変動原因を解明します。

### (3) 定例調査

霞ヶ浦魚類調査および水質調査を継続して行います。

## 7 広報事業 会報の発行・ホームページによる情報公開を行います。

### その他の事業

調査研究の受託 水質や生物調査、水質調査等について受注します。



## 議案第 2 号

## 平成 2 4 年度予算書 (案)

## 特定非営利活動

費 目	前年度決算額 (円)	予算額 (円)	増 減
前年度繰越金	205,487	163,989	△ 41,498
入会金・会費	79,000	150,000	71,000
事業費	0	50,000	50,000
寄付金	240,000	250,000	10,000
助成金	350,000	500,000	150,000
その他事業からの繰入	0	50,000	50,000
雑収	17	1,000	983
合計	874,504	1,164,989	290,485

## 支出の部

費 目	前年度決算額 (円)	予算額 (円)	増 減
(事業費)	394,767	750,000	355,233
会議費	8,880	50,000	41,120
報償費	300,000	400,000	100,000
消耗品費	51,279	200,000	148,721
印刷費	34,608	100,000	65,392
(管理費)	255,516	414,989	159,473
旅費	111,956	100,000	△7711,956
事務費	73,600	100,000	26,400
通信運搬費	67,160	80,000	12,840
会費等	2,800	20,000	17,200
予備費	0	114,989	114,989
合計	650,283	1,164,989	514,706

## その他の事業に係る事業

### 収入の部

費 目	前年度決算額 (円)	予算額 (円)	増 減 (円)
事業収入	0	500,000	500,000
合計	0	500,000	500,000

### 支出の部

費 目	前年度決算額 (円)	予算額 (円)	増 減 (円)
事務費	0	400,000	400,000
非営利活動事業繰入	0	50,000	50,000
次年度繰越金	0	50,000	50,000
合計	0	500,000	500,000

## 議案第3号

## 役員改選(案)

### 役員改選 (案)

職 名	第2期 (平成22～23年)	第3期 (平成24～25年)
理事長	荒井 一美	荒井 一美
副理事長	木村 陽一	木村 陽一
理 事	菊地 章雄	菊地 章雄
理 事	野口 淳夫	野口 淳夫
理 事	浜田 篤信	浜田 篤信
理 事	原田 泰	原田 泰
理 事		今泉 文彦
理 事		佐々木克典
監 事	宮内 徳二	宮内 徳二
監 事	岩波 嶺雄	岩波 嶺雄
理 事	尾崎 遼平	
理 事	瀬川 正明	